

NPO 法人防災レジリエンス二輪協会と災害協定を締結

～ 自動二輪車等の特殊走行技能を活用した被災状況調査等の実施体制を構築(全国初) ～

国土交通省近畿地方整備局では、自動二輪車等の特殊走行技術を有する者による被災状況の調査等を実施する体制を構築するため、NPO 法人防災レジリエンス二輪協会と「災害時における自動二輪等を用いた被災状況の調査等の実施に関する協定書」を締結することし、下記のとおり締結式を開催します。

災害時に車両等では通行できない公道や悪路において被災状況調査等を実施するための協定の締結は、全国で初めてとなります。

1. 協定の概要

- 1) 協定名 災害時における自動二輪車等を用いた被災状況の調査等の実施に関する協定書
- 2) 協定概要 令和6年能登半島地震において、大規模な土砂崩落や段差発生による悪路により交通が遮断され被災状況調査班が被災箇所へ到達出来ないという課題がありました。
本協定の締結により、自動二輪車による特殊走行技能者がトライアル国際A級ライセンス等の資格を有し悪路での被災状況調査を実施することで、被害の拡大防止と早期復旧に資することが出来ます。

2. 締結式

- 1) 日 時 令和6年12月5日(木) 9:30～10:00
- 2) 場 所 大阪府大阪市中心区大手前3-1-41 近畿地方整備局
(大手前合同庁舎 6階 災害対策関連室1)
- 3) 締結者 NPO法人 防災レジリエンス二輪協会

3. 取材について

取材を希望される方は、別添を確認のうえ12月3日(火)17時までに電子メール(kkr-bousaikyotei@mlit.go.jp)でお申し込みください。

(参考)

災害時における自動二輪車等を用いた被災状況の調査等の実施にご協力いただける団体の公募
～ 自動二輪車等の特殊走行技能を活用した被災状況調査等 ～

<https://www.kkr.mlit.go.jp/news/top/press/2024/20240925-4jidounirinnadonokoubo.html>

<取扱い> _____

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ

<問合せ先>

国土交通省 近畿地方整備局 防災室

防災室長 服部 浩二(はっとり こうじ)

防災室長補佐 平尾 紀之(ひらお のりゆき)

電話番号:06-6942-1575(直通) / E-mail: kkr-bousaikyotei@mlit.go.jp

(別添)

取 材 申 込 書

取材を希望される方は、事前にお申し込みをお願いします。

送信期限：令和6年12月3日（火）17：00まで

申込み先（E-mail）： kkr-bousaikyotei@mlit.go.jp

* 受信確認のため、防災室 06-6942-1575（平尾・高橋）までご連絡ください。

<取材にあたっての留意事項>

- ・ 式典中は、カメラ撮り可。
- ・ 取材中は自社腕章を必ず着用願います。着用がない場合は、取材をご遠慮いただく場合があります。
- ・ 入場の際には、記者証又は社員証の提示を求めることがあります。
- ・ 報道関係者は、当日会場入口にて受付をお願いします。
- ・ 近畿地方整備局長への囲み取材は行わず、式典終了後に担当者が個別取材を受けます。
- ・ 現地では、係員の指示に従って下さい。

◆報道機関名
◆取材者
1) 代表者名所属部署名
2) 同行者名所属部署名
3)
◆連絡先（電話番号、メールアドレス）

(備考)

上記の「◆連絡先（代表者の電話番号）」には、取材当日に連絡可能な連絡先を記入してください。

(取材当日、式典の変更等が生じた場合に連絡します。)

※ 全国初の取り組み

【協定の目的】

- 能登半島地震では大規模な土砂崩落や段差発生などによる悪路により交通が遮断され、被災状況調査を迅速対応できないことが問題となった。
- 自動二輪車等により車両等が走行出来ない悪路での被災状況調査を実施

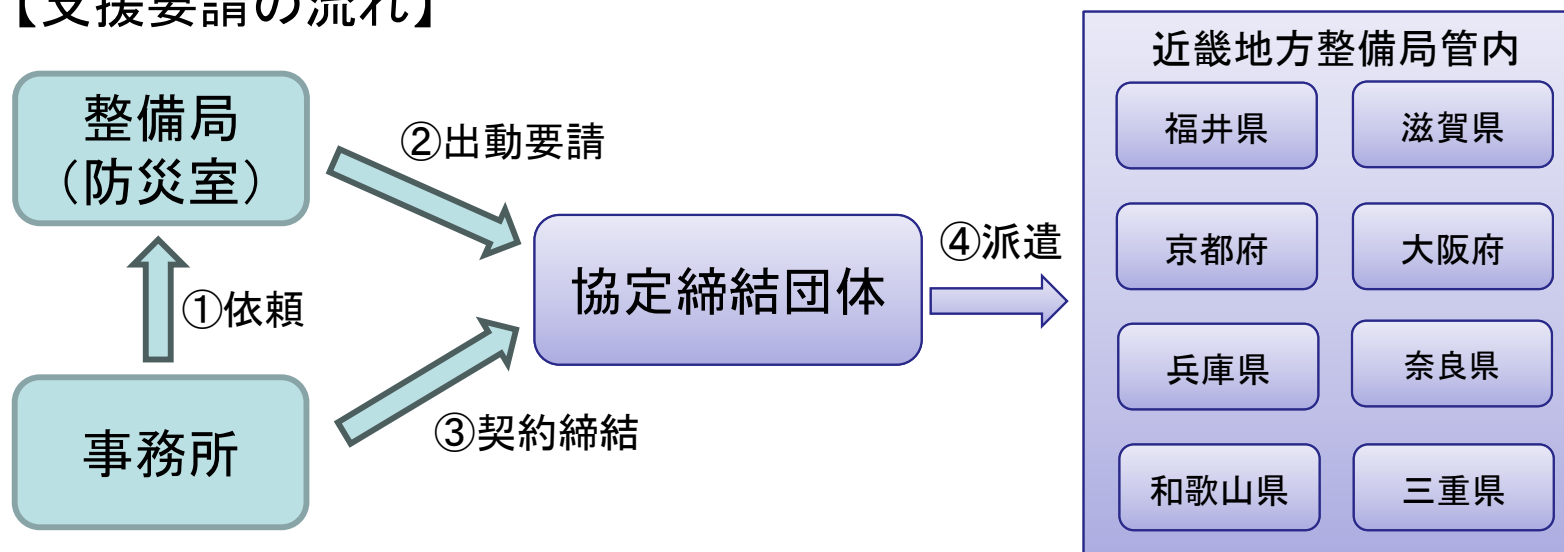
【協定締結団体】

- NPO法人防災レジリエンス二輪協会は、悪路の走行技能を有するトライアル国際A級ライセンス又はトライアル国際B級ライセンスの何れかの資格を有する自動二輪車等の特殊走行技能者により構成されている

【協定の効果】

- 特殊走行技能者により、悪路での被災状況調査を行うことで、被害の拡大防止と早期復旧に資することができる

【支援要請の流れ】



悪路走行イメージ